

【別紙】 新生 FRI の特長について（ご参考）

1. 主要な活動領域

(1) ビジネス・トランスフォーメーション

経営戦略、事業戦略、マーケティング戦略、情報戦略など事業領域の選択と集中や M&A による事業拡大、経営資源の配置などに対する領域

(2) プロセス・イノベーション

SCM や CRM の導入をはじめ、経営・生産・会計などの業務プロセス改革の領域

(3) ビジネス・アシュアランス

内部統制や BCM、情報セキュリティなど企業にとっての社会的責任、持続的な発展と成長のために必要な経営基盤、リスクマネジメントの領域

(4) ビジネス・クリエーション

新技術への対応・活用や新しいビジネスモデルの創出など、技術とビジネスを結びつけるコンサルティング領域

2. コンサルティングの特長

(1) シンクタンク機能との連携

FRI は、独自組織として経済研究所を擁し、社会経済に関わる広範な調査研究と政策や施策の提言活動を行っています。経済研究所の調査研究とその成果などをコンサルティングにも活用することで、中長期的に想定される企業環境の変化までを考慮した良質なコンサルティングが可能です。

(2) グローバルサポートが可能に

富士通グループは、全世界で事業や研究開発を展開しています。各地域に合わせたノウハウ、ベストプラクティスの提供により、国内企業のグローバル化や海外企業の日本展開時の連携サポートなどグローバル展開を目指すお客様に合わせたサポートを提供します。

(3) コンサルティングに特化したリソース

コンサルティング能力を有する人材を集約することにより、コンサルティングに特化したリソースをお客様のご要望に応じて提供します。富士通グループ内外からの継続的な人員増強を計画しています。

(4) リファレンスモデルでの実績を踏まえた提案

富士通グループ内での実践に基づく IT 投資や内部統制対応、BCM、新技術の適用など、さまざまな施策やプロセスをリファレンスモデルとして提供します。またお客様とともに取組んできた多くの活用事例をノウハウとして提供します。

(5) 先進技術の提案

グループ内に富士通研究所をはじめ、多くの最先端技術を有しており、それらを活用した業務改革や新事業モデルなどを提案します。

(6) 最新のコンサルティング技法の適用

論理的な事実の整理や分析などに際して、富士通グループが保有する先進の情報技術を駆使したコンサルティング技法を適用します。